2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　千代田インテグレ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6915　　ＵＲＬ　https://www.chiyoda-i.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役会長兼社長　　（氏名）小池　光明
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員　　（氏名）村田　功　　ＴＥＬ 03-6386-5556

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	30,307	7.0	2,633	17.0	2,995	22.6	2,769	50.2
2025年12月期第３四半期	28,317	△9.3	2,250	△23.2	2,443	△26.4	1,844	△20.4

（注）包括利益　　2026年12月期第３四半期　　2,545百万円（185.8%）　　2025年12月期第３四半期　　890百万円（△71.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	317.81	－
2025年12月期第３四半期	188.45	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	49,002	39,053	79.7
2025年12月期	50,311	40,284	80.1

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　39,053百万円　　2025年12月期　　40,284百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	160.00	160.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				160.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.1	3,000	0.9	3,400	3.7	3,500	33.4	404.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、　　除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. ７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	9,628,929株	2025年12月期	9,628,929株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,215,975株	2025年12月期	509,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	8,715,133株	2025年12月期３Ｑ	9,788,614株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. ２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、ＡＩ関連投資の拡大が景気を下支えしたものの、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰によりインフレ圧力が再燃するなど、先行き不透明な状況が続きました。米国では、雇用環境に減速の兆しがみられたものの、個人消費や設備投資が堅調に推移し、景気は底堅さを保ちました。中国では、ＥＶやハイテク製品の輸出が伸長した反面、不動産市況の長期低迷や消費の伸び悩みにより内需が低調で、景気回復の勢いは限定的となりました。東南アジアでは、電子部品・半導体関連輸出が景気を支えた一方、個人消費や公共投資などの内需の動向が国によって分かれ、成長格差が広がりました。欧州では、中国企業との競争激化などにより自動車産業が低迷したものの、消費や輸出が増加し、景気は緩やかに持ち直しました。

また、我が国経済は、物価高を背景に家計の節約志向が強まるなか、雇用・所得環境の改善や政府の各種施策に支えられ、景気は緩やかな回復基調を維持しました。為替市場においては、円安基調で推移したものの、変動の大きい状況が続きました。

このような経営環境の中で、中期経営計画で「高付加価値ビジネスの拡大」を掲げ、持続的な成長のために収益力の強化を図るべく事業活動を推進してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は30,307百万円（前年同四半期比7.0％増）、営業利益は2,633百万円（前年同四半期比17.0％増）、経常利益は2,995百万円（前年同四半期比22.6％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,769百万円（前年同四半期比50.2％増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、顧客の増産や新規受注によりＡＥ機器向けが伸長し、売上高は8,441百万円（前年同四半期比20.8％増）、営業利益は622百万円（前年同四半期は３百万円の営業利益）となりました。

東南アジアは、顧客需要によりＯＡ機器向けが好調で、ＡＥ機器向けも堅調に推移し、売上高は11,262百万円（前年同四半期比10.3％増）、営業利益は1,404百万円（前年同四半期比18.3％増）となりました。

中国は、半導体不足の影響によるゲーム機器向けの低調に加え、ＡＶ機器向けが想定を大きく下回り、売上高は6,679百万円（前年同四半期比7.6％減）、営業利益は546百万円（前年同四半期比34.2％減）となりました。

北米は、ＡＶ機器向けが落ち込んだものの、ＡＥ機器向けが底堅く推移し、売上高は3,175百万円（前年同四半期比1.0％減）、営業利益は94百万円（前年同四半期比59.1％減）となりました。

その他は、ＡＥ機器向けが堅調に推移し、売上高は748百万円（前年同四半期比10.2％増）、営業損失は22百万円（前年同四半期は11百万円の営業損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,309百万円減少し、49,002百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加613百万円、投資有価証券の減少1,145百万円及びその他（投資その他の資産）の減少353百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少し、9,948百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加369百万円、短期借入金の減少1,020百万円及び未払法人税等の増加514百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,231百万円減少し、39,053百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加1,310百万円、自己株式の増加2,317百万円及びその他有価証券評価差額金の減少295百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の通期連結業績予想につきましては、現時点では2026年８月７日に公表いたしました「2026年12月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の内容に変更ありませんが、必要が生じた場合には速やかに見直しを行い開示いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、「１米ドル＝158円」で算出しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
連結業績予想	百万円 40,000	百万円 3,000	百万円 3,400	百万円 3,500	円　銭 404.84
(ご参考)前期実績 (2025年12月期)	38,042	2,972	3,279	2,624	272.41

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,371	17,985
受取手形及び売掛金	9,314	9,223
有価証券	500	500
商品及び製品	1,813	1,796
仕掛品	409	547
原材料及び貯蔵品	2,471	2,597
その他	565	502
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	32,404	33,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,970	15,055
減価償却累計額	△9,788	△10,131
建物及び構築物（純額）	5,181	4,923
機械装置及び運搬具	12,548	12,816
減価償却累計額	△9,188	△9,641
機械装置及び運搬具（純額）	3,360	3,175
工具、器具及び備品	2,584	2,484
減価償却累計額	△2,205	△2,150
工具、器具及び備品（純額）	379	333
土地	2,685	2,673
使用権資産	924	954
減価償却累計額	△363	△460
使用権資産（純額）	561	493
建設仮勘定	58	100
有形固定資産合計	12,226	11,699
無形固定資産		
ソフトウエア	287	270
ソフトウエア仮勘定	－	1
その他	0	0
無形固定資産合計	287	271
投資その他の資産		
投資有価証券	3,156	2,010
退職給付に係る資産	739	759
繰延税金資産	451	461
その他	1,070	717
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	5,393	3,924
固定資産合計	17,907	15,896
資産合計	50,311	49,002

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,312	4,682
短期借入金	1,020	―
リース債務	210	174
未払法人税等	200	715
賞与引当金	432	754
資産除去債務	9	―
その他	1,492	1,399
流動負債合計	7,677	7,726
固定負債		
リース債務	313	271
繰延税金負債	1,046	971
退職給付に係る負債	857	861
資産除去債務	81	67
その他	50	50
固定負債合計	2,348	2,221
負債合計	10,026	9,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	28,131	29,442
自己株式	△1,449	△3,766
株主資本合計	31,464	30,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,246	950
為替換算調整勘定	7,341	7,496
退職給付に係る調整累計額	232	148
その他の包括利益累計額合計	8,820	8,595
純資産合計	40,284	39,053
負債純資産合計	50,311	49,002

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	28,317	30,307
売上原価	20,475	21,970
売上総利益	7,841	8,336
販売費及び一般管理費	5,590	5,702
営業利益	2,250	2,633
営業外収益		
受取利息	157	119
受取配当金	83	66
保険返戻金	－	265
その他	128	98
営業外収益合計	369	550
営業外費用		
支払利息	65	20
為替差損	81	141
減価償却費	7	10
その他	21	15
営業外費用合計	176	187
経常利益	2,443	2,995
特別利益		
固定資産売却益	7	4
投資有価証券売却益	327	1,124
特別利益合計	335	1,128
特別損失		
固定資産除売却損	26	179
特別損失合計	26	179
税金等調整前四半期純利益	2,752	3,945
法人税等	908	1,175
四半期純利益	1,844	2,769
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,844	2,769

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,844	2,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△295
為替換算調整勘定	△949	154
退職給付に係る調整額	△44	△83
その他の包括利益合計	△954	△224
四半期包括利益	890	2,545
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	890	2,545
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	東南アジア	中国	北米	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	6,990	10,210	7,228	3,208	27,638	679	28,317	－	28,317
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,129	89	960	3	4,183	0	4,183	△4,183	－
計	10,119	10,300	8,189	3,212	31,821	679	32,500	△4,183	28,317
セグメント利益又はセグメント損失（△）	3	1,187	829	231	2,251	△11	2,240	9	2,250

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	東南アジア	中国	北米	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	8,441	11,262	6,679	3,175	29,558	748	30,307	－	30,307
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,252	98	1,154	3	4,507	32	4,539	△4,539	－
計	11,693	11,360	7,833	3,178	34,066	780	34,847	△4,539	30,307
セグメント利益又はセグメント損失（△）	622	1,404	546	94	2,667	△22	2,644	△11	2,633

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,238百万円	1,282百万円

（重要な後発事象の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得に関し、その具体的な取得方法について決議いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。